

総務文教常任委員会

令和2年5月11日(月)

午前10時00分～

全員協議会室

1 開 議

2 案 件

(1) 行政報告

- ふるさと納税を活用したクラウドファンディングの実施について(市長公室)
- 休校措置延長に伴う放課後児童会の対応について(教育部)

(2) 新型コロナウイルス感染症対策に係る提言書について

3 その他

- 次回の日程について

ふるさと納税を活用したクラウドファンディングの実施について

株式会社アイモバイルの運営するふるさと納税サイト「ふるなび」を活用して、次のプロジェクトに係るクラウドファンディング（※）を実施し、本市政策のPRと寄附支援の呼びかけを行い、関連事業の財源確保を図ります。

※クラウドファンディング

寄附金の使い道をプロジェクト化し、そのプロジェクトに共感した方から寄附を募る仕組み。

<プロジェクトの概要>

掲載場所	ふるなびクラウドファンディング専用ページ
プロジェクト	光秀からのSOS！ 「麒麟がくる京都大河ドラマ館」支援プロジェクト 2020年、本市のターゲットイヤーとして期待を背負って始まった「麒麟がくる 京都大河ドラマ館」は、現在新型コロナウイルス感染拡大防止のために臨時休館している。ドラマは盛り上がっている中、休館を余儀なくされ、当初目標の入館者数50万人は難しく、大きく入場料収入が減少することが見込まれる。
寄附金の使い道	「光秀公のまち亀岡」を盛り上げ、全国から多くの光秀ファンを呼び込むこの大河ドラマ館の窮地を救うため、「麒麟がくる 京都大河ドラマ館」管理運営に活用する。
目標額	1,000万円 ※期間中、目標額に到達しても受付を継続。
募集期間	令和2年5月21日～令和2年7月31日（予定） ※新型コロナウイルスの終息状況に応じて変更する可能性あり
サイト掲載手数料	無料（寄附受付手数料（通常分）を除く。）

亀岡市長 桂川 孝裕 様
亀岡市教育長 神先 宏彰 様

亀岡市議会総務文教常任委員会
委員長 山本由美子

提言書

新型コロナウイルス感染症は、世界的大流行の状況にあり、政府においては、全都道府県を対象に「緊急事態宣言」を発令している。

亀岡市においても、外出や活動・営業自粛、学校の休校措置等により、市民生活はもとより、本市の経済を支える事業者にも大きな影響が出ており、一刻の猶予も許されない状況である。

市長及び教育長におかれては、市民に寄り添った緊急対策を講じていただいているところではあるが、新型コロナウイルス感染症対策を最優先事項としていただくために、亀岡市議会総務文教常任委員会として下記のとおり提言する。

記

【予算関係】

- 1 令和2年度当初予算で議決した次の事業については、実施できる状況にはない現状を鑑みて即刻中止の判断を下し、経費を新型コロナウイルス感染症対策に充てること
 - ① 総務費、総務管理費、文化振興費、文化振興経費、かめおか霧の芸術祭に係る経費
17,000千円
 - ② 教育費、小学校費、教育振興費、ふるさと学習推進経費、京都スタジアム・大河ドラマ館等見学に係るバス運行経費
3,254千円
 - ③ 教育費、保健体育費、保健体育総務費、オリンピック・パラリンピック関連事務経費、東京オリンピック聖火リレー事業経費
12,000千円

【教育関係】

- 1 学校の臨時休校等の緊急時において、子どもたちの学びを保障できる環境が必要となることから、家庭の通信環境を調査し、実態を把握すること。
- 2 遠隔授業や在宅学習が可能な通信環境整備（ポケットWi-Fiの配布など）を急ぐこと。
- 3 学校再開時まで、マスク、消毒液、検温器、プッシュ式ハンドソープを確保すること。
- 4 学校生活、学習支援のサポート体制、心のケア体制を整備すること。特に、新1年生や小学6年生、中学3年生については、担任以外に教師経験者などによるサポート体制を検討すること。

【特別定額給付金関係】

- 1 実施本部に、フリーダイヤルや専用電話回線を設け、万全の相談体制で臨むこと。
- 2 申請書の郵送に際しては、わかりやすく添付書類を説明し、記入例を同封すること。
- 3 一人暮らしの高齢者など特別な配慮を要する方には、できる限り申請のサポートを行い、申請漏れのないようにすること。